

市政報告 「明日の習志野」 第11号

完全無所属

発行者：習志野市議会会派「明日の習志野」
代表 大宮こうた



未来を担う子どもたちのために、教育行政の改善を！

会派「明日の習志野」代表、大宮こうたです。いつもご支援、ご協力ありがとうございます。私は、**まちづくりにおける教育の役割を重視**しています。教育は、**まちの未来を担う子どもたちを育む**もので、憲法第 26 条で「教育を受ける権利」が保障されているとおり、日本社会全体にとっても極めて重要です。

私は、**世界で学び、働いてきた経験（米国、アフガニスタン、インドネシア等）から、日本の教育についてその内容は素晴らしい**と考えています。一方、教育行政には課題があります。例えば、「隠れ教育費」と言われている、授業料や教科書以外の教材等の費用を保護者が過剰に負担している現状は、日本国憲法に反しており、抜本的に見直す必要があります。

「**習志野で教育行政の好事例を生み出し、全国に広げていく**」、このような志で取り組んできている活動の進捗状況と主な成果を報告します。

① 学習教材の共用品化：彫刻刀セット等、今年度から整備が開始！

算数セット、彫刻刀セット、30 cmものさし等といった学習教材は、学校からの案内に基づいて保護者が購入してきました。私は、これらの教材は義務教育の活動の一環であり、授業での使用期間が短期間で終わるものもあるため、学校の備品として公費で整備すべき、と提案してきました。

議論の結果、2023 年度に改善の方針が決まり、2024 年度には予算の試行的な措置、そして、**2025 年度から共用品化が開始**されました。今年度には全ての小学校で彫刻刀セットと 30 cmものさしが備品として整備されています。他教材（算数セット、書初め用下敷き、植木鉢、教科書収納ボックス等）も備品として順次整備されていき、共用品化が進んでいきます。引き続き、適切な予算措置と着実な実施を推進していきます。

② 学校徴収金の見直し：特に、テスト、ドリル、ワークを！

学校徴収金とは、教材費や校外活動費等、教育活動上で必要となる経費のうち、学校が保護者から徴収したうえで管理、執行する経費のことです。この学校徴収金にはテスト、ドリル、ワークの費用が含まれており、『テスト等の紙は児童・生徒が家に持ち帰るものだから、「受益者負担の原則」によって保護者が負担』と整理されています。このような非合理的な整理は、**憲法第 26 条で定める「義務教育の無償」原則に反する**もので、絶対に改善しなくてはなりません。

憲法に加えて、関連法令、判例等を踏まえて根本的な改善を粘り強く求めた結果、教育長から「**これまでと発想を変えて**」見直すという方針が示されました。具体的な見直し内容をしっかりとフォローし、学校徴収金に関する問題が無くなるまで改善を続けていきます。



2025 年 9 月議会の様子。今回の一般質問では、「中学校における学校指定品（制服等）が高すぎる！」という問題を提起したうえで、抜本的な見直しを求めて議論を展開しました。



市長（右）への 2026 年度予算に関する要望においても、「義務教育の無償」原則の真の実現について要請しました。日本国憲法の理念に立ち返って、着実に改善を進めています。



彫刻刀セット等の共用品化、テストやドリル等のあり方の見直し等、習志野市から全国に広がるような取組を積極的に推進しています。

③ 中学の学校指定品の改善：高すぎる制服等の見直しを！

今、子どもが市立中学校に入学すると、**学校が指定する制服やかばん、ジャージ等をそろえる必要があり、全て買うとその総額は約 10 万円**にもなります。例えば、男子の制服上着は平均約 3 万円もします。市場価格からかけ離れており、量販店のジャケットが何着も変えてしまう値段です。また、暑い時期が長期化する近年、体操服や学校 T シャツで登校する期間が長くなっています。その結果、制服の夏服は使う機会が激減し、年間を通して制服を使う期間は半分程度です。さらに、中学校は子どもの体が成長する時期で、在学中に制服を買い替える場合もあります。このようなことを踏まえて、制服等の高すぎる学校指定品について、他自治体の取組（制服のレンタル制度等）を紹介しながら、現在の価格は妥当ではなく、抜本的に見直す必要があると強く主張しました。

教育長からは「**保護者の経済的負担軽減の観点も含めて学校指定品のあり方を見直す**」という表明がありました。見直しが形となり、目に見えて変わる時までこの問題にしっかりと取り組んでいきます。

まちづくりへの想い：「当たり前」へのチャレンジ！

今号でご報告した教育行政の改善は、**今までの「当たり前」を疑い、「どうあるべきか」を真剣に考えた、前向きなチャレンジ**です。日本の社会に足りないものの一つは、前例踏襲ではなくあるべき理想を考えたうえでの前向きなチャレンジです。これからも、**前向きなチャレンジを多くして、創意工夫のあふれる、ワクワクする習志野を創っていきます！**

オンラインでの報告：毎月行っています！

毎月一回、オンライン（Zoom）で、活動報告や意見交換を行っています。開催については以下の Web サイトでご案内します。「聞くだけ」、「画面 OFF」でも構いません。お気軽にご参加ください。

<https://www.omiya-kota.jp/meeting/>

会派・所属議員の紹介

【会派】明日の習志野（あすのならしの）

2023 年 5 月、ワクワクする習志野を創るために結成された会派。特定の政党や組織の支援は一切受けずに、**対話重視、現場主義、前向きな提案**を活動指針としている。

【所属議員】①大宮こうた

1980 年 7 月生まれ、1 期目。東京大学教養学部卒、米国シラキュース大学行政大学院修了。JICA（国際協力機構）勤務後、**ワクワクするまちづくりで習志野を盛り上げるため、完全無所属で 23 年 4 月の市議選で当選（3 位）。**

ともに、明日の習志野へ

日常的な発信はブログ、X（旧 Twitter）、Instagram、ブログ、Youtube 等で行っています。オフィシャルサイトのリンクからご覧ください。**市政報告のバックナンバーもサイトからご覧いただけます。**ご要望、ご意見等もお待ちしています。

特に、**一緒に習志野を盛り上げたい方、習志野市政に挑戦したい方、ぜひご連絡をいただければ幸いです。**ともに、明日の習志野に向かって、習志野市政に前向きでワクワクする変化をもたらしていきましょう！

【連絡先】✉ info@omiya-kota.jp

☎ 090-9130-9434



全国的にも過去 20 年で制服等の価格は上がっていると指摘されており、公正取引委員会も課題として調査をしました。必要性、価格、質等を総合的に踏まえた改善をしていきます。



完全無所属の政治家として、「習志野市民にとってよいかどうか」という判断基準を大事にしています。組織や団体等とのしがらみは一切なく、習志野市政を一新し、このまちをもっと良くして次の世代に誇りをもって引き継ぎたい、という強い想いで引き続き活動していきます。

